

八甲田山中の「酸ヶ湯温泉」と津軽半島・最北端の宿「ホテル竜飛」

宮越家離れ・庭園「詩夢庵」秋公開2泊3日



旅行期間:2025年10月31日(金)～11月2日(日)2泊3日

八甲田の紅葉と津軽の美しい景色とともに先人たちの物語をつないで津軽半島をご案内します！

ステンドグラス作家・小川三知の「最高傑作」と評価される作品3点が残る中泊町「宮越家」を訪ねます。
宮越家所蔵「春景花鳥図」とイギリスの大英博物館所蔵「秋冬花鳥図」が対であると話題に
「秋冬花鳥図(複製)」の二つの襖絵を並べて特別展示されています。

日付	行程	食事
10/31 (金)	14:00 送迎バス 15:00 青森駅(青森商工会議所前)――酸ヶ湯温泉(泊) ※添乗員は同行しません。	夕○
11/1 (土)	8:50 送迎バス 9:50 酸ヶ湯温泉――青森駅(青森商工会議所前) ※添乗員は同行しません。 ----- ※ここから添乗員同行します 12:30集合 貸切バス 12:50 13:00～14:20 青森駅前交番====新青森駅東口====北洋硝子「津軽びいどろ」工場見学===== 15:40 海底140mの海底トンネル 16:40 青函トンネル記念館「青函トンネル竜飛斜坑線 もぐら号」###体験坑道駅====ホテル竜飛	朝○ 昼× 夕○
11/2 (日)	08:30 貸切バス ホテル====龍飛岬====中泊博物館====宮越家離れ・庭園「詩夢庵」秋公開===== 13:30～14:30 中泊町特産物直売所「ピュア」====かなぎ元気村かだるべえ「旧傍島家」(昼食)====芦野公園 15:04 津軽鉄道 15:30 16:50 17:10 芦野公園駅#####津軽五所川原駅...でる・そーれ====新青森駅====青森駅	朝○ 昼○ 夕×

- 旅行代金:1名1室93,000円(税込)、2名1室お1人様78,000円(税込)、3～4名1室お1人様73,000円(税込)
- 宿泊先:1日目酸ヶ湯温泉、2日目ホテル竜飛
- 代金に含まれるもの:行程表内の貸切バス、宿泊費(2泊)、食事5回、入館料、津軽鉄道運賃、津軽びいどろ土産、添乗料
- 添乗員:2日目と3日目に同行します。 ■ 募集人員:10名様(最少催行人員5名)
- 利用バス:三八五バス ■ 締切日:2025年10月10日(金)

株式会社また旅くらぶ

青森県知事登録旅行業第2-160号
(一社)全国旅行業協会会員
国内旅行業務取扱管理者 高木 まゆみ

TEL:017-752-6705 FAX:017-752-6704

E-mail:info@matatabi-club.com

〒030-0945青森市桜川3丁目12-8(また旅はうす1F)

《営業時間 午前10時から午後4時 休業日/土日祝日》



旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。

← 契約の内容・条件は、募集広告に記載されている条件の他、標準旅行業約款に基づいております。左QRコードリンク先の「募集型企画旅行契約の部」を必ずご確認ください。

八甲田山中の「酸ヶ湯温泉」と津軽半島・最北端の宿「ホテル竜飛」 宮越家離れ・庭園「詩夢庵」秋公開 2泊3日

【ツアーのポイント】

◎北洋硝子「津軽びいどろ」

昭和24年に漁業用の浮玉製造から始まったガラス工房・北洋硝子「津軽びいどろ」の歴史と職人の技をご覧ください。



◎八甲田山中の酸ヶ湯温泉

標高約900mの高地に位置し、紅葉に彩られる八甲田山の絶景を楽しみながら温泉を満喫することができます。名物の総ヒバ造り、160畳もの広さを誇る柱一本ない混浴大浴場「ヒバ千人風呂」には4つの異なる源泉があります。



◎津軽海峡が一望できる 津軽半島・最北端の宿「ホテル竜飛」

「津軽海峡冬景色」で有名な風の岬・龍飛崎のすぐ近くにあります。大浴場からは津軽海峡を一望でき、晴の日は北海道を望むことができます。ホテルの真下に青函トンネルが通っていて新幹線が通過するとロビーの照明が七色に光ります。



◎宮越家離れ庭園「詩夢庵」秋公開の最終日です。

大正9年に夫人イハに贈った、宮越家離れ「詩夢庵」のステンドグラスと襖絵を鑑賞します。宮越家のふすま絵がイギリスの大英博物館の所蔵品と対であると判明し、大英博物館所蔵の複製品を並べ、二つの襖絵をご覧ください。



◎古民家で津軽を味わい、津軽の風景を楽しむ

- ・明治4年に建てられた古民家・旧傍島家(太宰治の叔母の家)で郷土料理をいただきます。
- ・昭和5年開業の津軽鉄道に乗って津軽の秋の景色をお楽しみください！

